

# 中央通りさくら並木公園 ワークショップ 第1回

平成20年8月9日（土）に、中央通りさくら並木公園（吉祥寺北町4-11）の第1回ワークショップを開催しました。

当日は、公募による市民13名が参加され、主に公園計画地の現況観察と意見交換を行いました。続く第2回は平成20年9月10日（水）に開催します。



植物の専門家と一緒に樹木の観察をしました。



参加者全員で計画地の中を歩きました。



グループに分かれて意見交換。



意見交換の成果を発表しました。

◆ 計画地には次のようにたくさんの種類の樹木があることが分かりました。

巨木	トチノキ、ケヤキ、イチョウ、ヒマラヤシーダー、シラカシ、アカマツ、ムクノキ
庭木・花木	イロハモミジ（古木）、ノムラモミジ（古木）、キンモクセイ（古木）、ヒイラギモクセイ、ツバキ、サザンカ（古木）、ミズキ、ハナミズキ、ミカン類、ハナズオウ、ドウダンツツジ、アオキ、カシワ、ドイツトウヒ、ハクモクレン、モッコクなど
その他	シロダモ、マテバシイ、サワラ、カヤ、グミ、サンショウなど
特殊木	バショウ

◆ グループによる意見交換の結果をまとめると次のようになりました。

## 1. 全体方針に関わること

- ・いろいろな樹木を残しながら発展させる
- ・いろいろな世代が憩える交流の場。年齢に関係なく、楽しめる公園
- ・周辺環境との調和（生活と景観）を図る
- ・武蔵野の林の再生
- ・石と庭木を再配置して庭園を再生する
- ・市の緑化率 25%目標の一環として考える
- ・小さな公園はたくさんある地域なので広さを楽しみたい
- ・中央通りの桜の景観を生かす
- ・緑の公園
- ・緑と石と土を活かした自然の豊かさを感じる公園にする
- ・花作り、緑、環境など広い意味でのまちづくりの拠点になるとよい



## 2. 既存樹木等の扱いについて

- ・大木の切り株が無秩序に残っている
- ・南側の樹木は木の形が崩れていた
- ・大きな木をシンボルにして、木や岩を配置する
- ・ケヤキ、トチノキ等の大木をシンボルツリーにする
- ・シンボルツリーなど残す木を決めて整理が必要
- ・この地域特有の樹木は将来増えていって欲しい
- ・多様性を残すことが重要
- ・現在の大木が数十年後にどうなるかも考える
- ・土の状態をよくする

## 3. 留意すべき点について

- ・中央通り側の歩道に自転車の放置がある
- ・南側、北側の辺りをどのようにしていくか
- ・北側マンションの壁との調和が必要（生垣など）
- ・社宅や障害者センター、大野田小学校などの意見や参加も期待したい
- ・災害時の給水施設を地下につくる
- ・いざという時の避難場所になるようにする
- ・建物類は建設しない。子供たちの遊び場は武蔵野市民公園で十分である
- ・周囲に 24 時間営業の店が多いので溜まり場になりそうな点が不安(夜間)
- ・何が大切かを見極める必要がある
- ・門の敷石で大きいのが埋っている
- ・バリアフリーの道を考慮する

## 4. 市民による管理運営について

- ・国などによる市民参加による地域コミュニティ公園の助成を利用する
- ・現状の維持は近隣住民(その恩恵と被害を直接うける人々)が自主管理すること
- ・自分達の樹木という意識を高めるため、近隣住民が管理責任を持つよう管理グループをつくる
- ・この地域は住民参加でコミュニティ活動などの積み重ねがあるので、そういう財産を生かして考えたい
- ・地域住民の幸せ(福祉)という視点で、活動の拠点がつくれるといい
- ・できるだけ多くの市民が運営に関わるなど、主体的参加ができるような仕組みが必要
- ・安全は住民の目が届いていることが大切なのでその視点を大切にしたい

## 5. その他アイデアなど

- ・桜が見えるよう中央通り方向にメッセージ入りベンチを設置する(寄付でまかなう)
- ・土を残す(極力舗装はしないで芝生にする)
- ・照明などは太陽熱発電とする
- ・犬と散歩をしたい
- ・ハンモックを吊るして昼寝できるとよい
- ・虫(バッタや蝶)がたくさんいたので、子供が虫取り遊びを出来ると良い
- ・バスを待つ間公園でゆっくりしたい
- ・周りに高い建物がないので、星や月が見られると良い

